

ワークショップ10	
タイトル	医学部医学科の入学選抜と教育格差～地域医療の視点からの検討～
日時	6月13日(土) 10:45-12:15
企画責任者	大滝 純司 (公募企画)
定員	10名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>社会格差の拡大がわが国の課題として指摘される中、教育格差も深刻になっている。これは、医学教育にもあてはまる。現在の日本の医学部(医学科)入試は、進学校の成績上位者、そして予備校で受験対策を学べる者でなければ、合格することが困難になっている。一方、「地域枠」が導入されるなど、医学部入試に関する要請や介入が顕在化している。また海外では、教育格差の是正を目指した入学選抜や教育課程も実施されている。少子化や地方の人口減少が急速に進む日本で、地域医療を支える医師をどのように養成するかを考える上で、この医学部入試における教育格差の問題は重要であるが、ほとんど議論されておらず、関連する情報は限られているのが現状である。我々の研究グループは、医学部医学科の入学選抜と教育格差に関する検討を目的に、国際シンポジウムの開催などの活動を行ってきた。このワークショップでは、わが国の医学部(医学科)入試における教育格差の問題について、特に地域医療の視点から検討するために、関係する情報を共有し議論することを目指している。</p> <p>【概要】</p> <p>はじめに、医学部(医学科)入試における教育格差の問題についてミニレクチャーと資料により関係する基本的な情報を参加者間で共有する。その後、小人数のグループに分かれて、主に地域医療の視点からこの問題に関する意見交換を行う。グループでの議論では、意見をひとつにまとめるのではなく、多様な意見を交換し多角的に検討することを重視する。最後に全体で集まり、グループでの議論の内容を共有する。参加対象者としては、この問題に関心のある地域医療関係者、医学教育関係者、非医療者の市民の皆さんを想定している。参加者がこの問題について多角的に思考できるようになることが、今回のワークショップに期待される成果である。</p>	